

白川愛の活動報告

活動報告レポート vol.9

発行日：2025年（令和7年）3月30日
編集・発行：白川愛

わたい
容赦しないので!

しらかわあい



白川愛の令和6年度一般質問の主な内容

- ▶都市部ならではの持続可能な緑化の推進を
- ▶教育活動全体を通じた子どもたちのウェルビーイングの向上を目指して

令和7年度予算案に対する白川の主な質疑

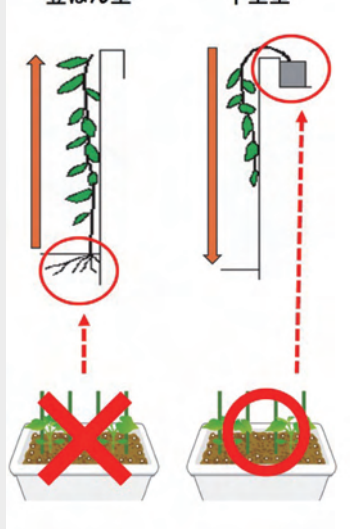
- ▶事業費94億円上振れで目黒区民センターの再整備事業が頓挫
- ▶電動キックボードの違反や事故を減らすため

闘う
母性。



▶都市部ならではの持続可能な緑化の推進を

登はん型 下垂型



壁面緑化について

現行の助成制度では、植物の成長方向（上から下、または下から上）によってプランターの使用が制限されている。この制限の理由は現代の住宅事情（狭小地や賃貸住宅の増加）に合致したものになっているのか。ヒートアイランド現象緩和などの効果を考慮し助成条件の見直しが必要ではないか。

屋上緑化について

建築物の屋上緑化対象面積は、設備などを除いた実投影面積のみが対象。太陽光パネル設置が進む中、緑化面積の減少が懸念される。海外では屋上緑化と太陽光発電の組み合わせが普及しており、エネルギー効率向上や生物多様性確保の効果も確認されている。目黒区でも公共施設の太陽光パネル設置時の緑化可能面積の基準を見直し、緑化とパネルの複合利用を推進すべきではないか。



青木区長



以上の点について、区の見解を問う質問をしたところ ...

みどりの基本計画の改定の中で、効果的で持続可能な緑化助成について検討していく。区民、事業者等の理解を得ながら、太陽光発電の導入促進と屋上緑化の推進を図るとともに、国や都の動向も注視していく。

▶教育活動全体を通じた子どもたちのウェルビーイングの向上を目指して

かつて東京23区に存在した全寮制の健康学園は財政難や児童数の減少で廃止され、現在は中央区のみが運営を継続している。今回は現役の小児科医でもある小坂和輝中央区議会議員ならびに、中央区教育委員会学務課の方々にご協力を頂き中央区立宇佐美学園の調査研究を行った。

中央区では、健康教育の定義を時代に合わせて拡張し、**デジタル依存や不登校**、家庭環境の問題を抱える児童の受け入れを行い、**生活リズムの確立や習慣の改善**を促していることがわかった。

卒園生や保護者からも、**生活態度の向上や学習への意欲向上などの成果**が報告され、区民からも意義深い公教育の場として評価されていることも確認できた。

目黒区でも、かつて全寮制だった興津自然学園を、現代の子どもたちの課題に対応する公教育の場として**再整備する可能性**について、目黒区教育委員会に見解を問うた。



こども元気クリニック院長・中央区議会議員
小坂和輝さん

教育長



区有施設見直し計画において、興津自然学園の施設維持の必要性について検証することが示されている。学校利用の状況を踏まえながら、子どもたちにとってより充実した事業をすることを前提に、施設維持の必要性を判断していく。

▶ 令和7年度予算案に対する白川の主な質疑

目黒区の令和7年度一般会計予算額は約1423億円で前年度比9.5% 金額にすると約123億円の増額、当初予算規模が過去最高となる状況が8年間続いている。予算編成で私が問題視するのは、**積み上がる予算に対して、財政出動の判断基準をどこに置こうとしているのか曖昧になっている**点だ。これでは政策の効果検証が行えない。財政負担がどれくらい軽減されるか「期待される財政効果」を意識せずに一般財源総額が実質的に対前年度で同水準を確保するという政治的決着が延々と続けられている現状について区長に見解を問うた。

青木区長



基本構想・基本計画実施に向けた予算編成をしている。所信表明でも明確に示している。編成に際してはボトムアップ方式も取り入れている。

▶ 事業費94億円上振れで目黒区民センターの再整備事業が頓挫

当初399億円と見積もっていた事業費だが、資材価格や人件費の高騰により、公募条件の見直しを余儀なくされた。計画が中長期的に与える区への財政への影響を再試算した結果の中止判断だった。



民間の資金とノウハウを活用するPFI方式を選択した目黒区だったが、このプロジェクトを推進するために**外部コンサルタントに委託した費用はこの7年間で既に4億円に達している**。令和7年度も追加の費用が計上されている。PFIにより財政負担の平準化を図ろうとしたとはいえ、区民の税金を投入している以上、しかるべきタイミングで必ず事業の検証作業が必要になると考える。引き続きこの点についても議員として行政に対するチェック機能を果たしていきたい。

▶ 電動キックボードの違反や事故を減らすため



電動キックボードなど「特定小型原動機付自転車」の区内登録台数はR7年1月31日現在822台、レンタル事業者が7割を占めている。新しい産業の台頭や新たな移動手段としての利便性自体は否定しないが、16歳以上であれば運転免許不要、時速6キロ以下ならば歩道も走行可能、ヘルメットの着用は努力義務という法改正により普及のスピードに比べて運転マナーやルールの順守が不徹底になっていると言わざるを得ない。

目黒区内でも人身事故件数が増加していることから、安全啓発活動の一環として区内の人身事故件数の把握および定期的な公表を求めた。目黒区としても事故から区民を守る為にこれまで以上に丁寧な情報発信に取り組んでいくべき。

目黒区では区内の各警察署から情報が得られないため公表できない。(世田谷区では各警察署から情報を得て既に件数を公表している)

青木区長



その他にも... 紙面の都合上、詳細をお伝えできませんので、ぜひリンクのブログもご参照ください。



朝鮮、中華、韓国学校のみ「目黒区外国人学校生徒等保護者補助金交付」制度について
<https://aishirakawa.tokyo/blog/6017>



区長と議員の報酬UPには反対!!
<https://aishirakawa.tokyo/blog/5948>



公費での区議会議員の海外派遣には反対!!
区議1名の1泊2日の韓国旅行に11万は高すぎる
<https://aishirakawa.tokyo/blog/5994>

ブログ・HP はこちら



▲ HP



▲ 活動報告



「拉致被害者の奪還のため、一丸となりましょう!」 北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会

自由を守る会

地域のことは地域で決める

会員募集中

@aishirakawa1

facebook.com/aishirakawa.tokyo

自由を守る会 白川愛

検索

153-0051
目黒区上目黒3-6-5 中目ビル2階

080-7505-0905

ai@aishirakawa.tokyo

